

# 市立図書館相武台分館のあり方についての要望書

令和8年2月  
相武台地区まちづくり会議

## I. エグゼクティブサマリー

本報告書は、市立図書館相武台分館における図書機能の将来のあり方について、地域住民、関係団体等による検討結果を整理し、教育行政としての判断に資することを目的として取りまとめたものである。

相武台分館は、地域における図書機能を担う施設として、児童・生徒の読書活動の推進、調べ学習や学習相談への対応、市民の生涯学習の支援など、学校教育を補完する社会教育施設として、地域において重要な役割を果たしてきた。

特に、司書によるレファレンス機能や、子どもを対象とした読書活動は、家庭や学校のみでは代替が難しい教育的機能として、長年にわたり利用され、地域に定着している。

市においては、相武台分館について、公民館や学校等を活用した図書室機能として整理する方針が示されている。

本検討会における地域の要望は、こうした市の方針を前提とした上で、これまで相武台分館が果たしてきた読書活動推進、学習支援、レファレンス等の図書機能が将来にわたり適切に継続されることを求めるものである。

その上で、短期的には現施設において教育的機能を安定的に継続しつつ、中長期的には、市から示されているもえぎ台小学校跡地の活用区分を踏まえ、行政活用エリアにおける整備を視野に入れた対応が妥当であるとの結論に至っている。

### ■ 要望

- (1) 短期的には現施設を可能な限り活用しつつ、中長期的には、図書室機能として整理される場合であっても、その中で継続される図書機能を、もえぎ台小学校跡地において確保すること。

当該図書機能は、地域活動の場という性格にとどまらず、児童・生徒の学習支援や読書活動の推進、調べもの相談等のレファレンスサービスを含む、学校教育を補完する社会教育機能を有する公共サービスであり、市の教育施策と一体的に位置づけられるべき機能であることから、市が示す跡地ゾーニングにおいては、行政活用エリアとして検討することが適切であると考えます。

- (2) 図書機能を読書活動推進、学習支援、生涯学習施策と連動させ、教育行政全体の施策効果向上につなげること。

あわせて、当該機能がもえぎ台小学校跡地全体の活用構想の中で、市長部局や地域と連携しながら、全体最適の視点で検討されることが望ましい。

## II. 報告書本編

### 1. はじめに

本報告書は、市立図書館相武台分館における図書機能の将来のあり方について、地域住民、関係団体等により検討した結果を、教育的視点から整理したものである。

### 2. 検討の背景

市立図書館相武台分館（以下、「分館」という。）は、昭和54年の開館以来、地域の多くの皆様に身近で親しみやすい学びの場として利用され、また、読み聞かせのボランティア団体と市との協働の場にもなっている。

一方、本市では多くの公共施設の老朽化が進み、財政状況が一層の厳しさを増す中、全ての施設を現状のまま維持し続けることが困難な状況であり、社会のニーズや時代の変化に合わせたサービスの提供方法や施設のあり方の見直しが求められている。

こうしたことから、分館については、令和3年4月に策定した「相模原市行財政構造改革プラン」において、以下の2点が示された。

- ① 図書館ネットワークによるサービス環境の確保に伴い、「第2期」中の廃止に向けた取組を実施する。（注：第2期は令和6年度から令和9年度まで）
- ② 相武台地区内には公民館や学校などを活用した図書室機能の確保を検討する。

地域において、分館の存続を望む声が多かったことから、相武台地区まちづくり会議において、専門部会である「図書館相武台分館のあり方検討会」（以下、「検討会」という）を令和5年5月に設置し、相武台地域にとって望ましい図書機能のあり方について検討を開始した。

### 3. 検討の経過

令和5年6月から令和7年12月まで計13回の検討会を実施し、市内図書館・図書室視察（全7施設）、委員意見の集約、利用者アンケートの分析など、幅広い情報に基づいて議論した。検討経過の詳細は添付資料（添付1）に整理している。

### 4. 検討内容

検討会において、図書機能の維持方法、および図書機能のあり方を検討した。

#### （ア）図書機能の維持方法

公民館や学校などの活用および現施設の老朽化を考慮したうえで、選択肢を以下の2つに絞って検討した。

- ① 現施設を存続させる
- ② 現施設を可能な限り存続させ、将来的には機会をとらえて移設

第8回検討会において、維持方法は②、場所は「もえぎ台小学校跡地」ということで合意した。検討内容の骨子は以下の通り。

選択肢	場所	検討内容
①	現施設	昭和54年開館、築46年が経過。都度修復による短期的な利用は可能と見込むが、永続的な利用は困難。

②	公民館	相武台公民館は、転用可能な部屋がないため困難。
	もえぎ台小学校跡地	令和7年度末で閉校する予定のもえぎ台小学校跡地の利用については、地域から市に要望することが可能であり、最も現実的な選択肢。 なお、図書室機能として整理された場合であっても、その中で継続される図書機能は公共サービスであることから、市が示す跡地ゾーニングにおいては、行政活用エリアとして位置づけた上で検討することが適切であると考えます。

### (イ) 図書機能のあり方

現分館が有する図書機能を確認したうえで、移設後の図書機能のあり方について検討した。

#### ① 現分館が有する図書機能

現分館が有する図書機能と主な内容は以下の通りである。

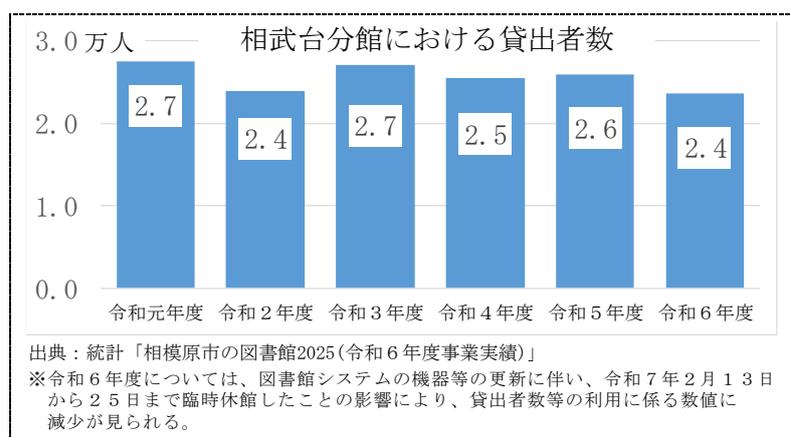
図書機能の別	現分館が有する図書機能の主な内容
閲覧	図書館内で蔵書を自由に読んだり調べ物をしたりできる基本的なサービス。
貸出	図書館が所蔵する図書や資料を、利用者に貸し出すサービス。 他の図書館から資料を取り寄せてもらう「図書館間相互貸借」も含む。
情報	利用者が求める資料や情報を提供するサービス全般。 具体的には、レファレンスサービス、資料の紹介や提供、利用案内、インターネット等を用いた情報提供など。
施設	図書館という物理的な空間や設備を利用して、利用者の多様な活動や情報ニーズを支援するサービス全般。 具体的には、閲覧席、おはなし会/学習/読書等のスペースとして集会室を利用、インターネット利用端末、資料の複写(コピー)サービスなど。 付帯施設として、駐輪場などがある。

#### ② 移設後の図書機能のあり方

現分館が有する図書機能について検討した結果を以下に示す。

##### (A) 閲覧

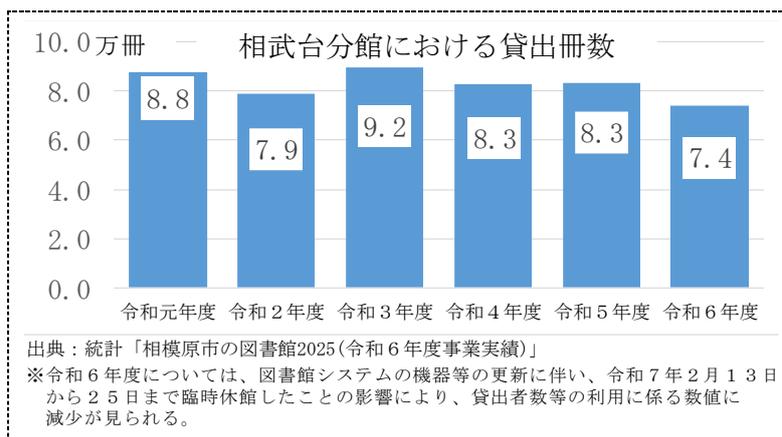
分館の年度における年間貸出者数は、令和元年度から令和6年度にかけて2.5万人前後の水準で推移していることから、現行と同程度のサービスの維持が必要であると考え(右グラフ)。



また、子育て支援や高齢者の生涯学習支援など、多様なニーズに応じた閲覧サービスの更なる充実や、地域の分館として、郷土資料(相武台地区の歴史・成り立ち・隣接地域との関係)の拡充を望む意見があった。

## (B) 貸出

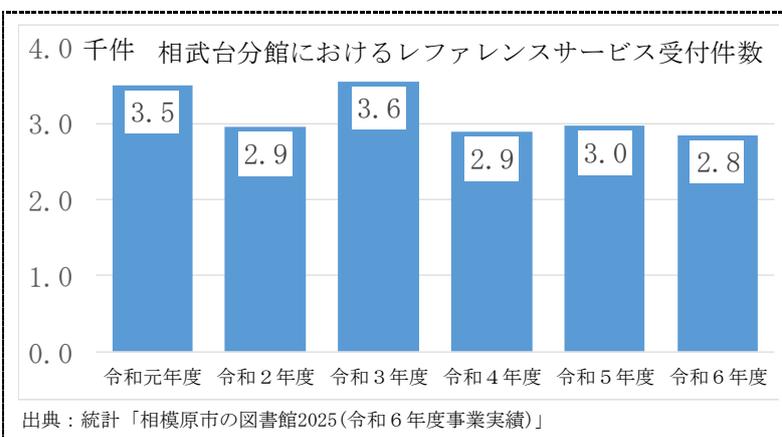
分館の年度における年間貸出冊数は、令和元年度から令和6年度にかけて、毎年度8万冊前後の水準で推移していることから、現行と同程度の貸出サービスの維持が必要であると考える(右グラフ)。



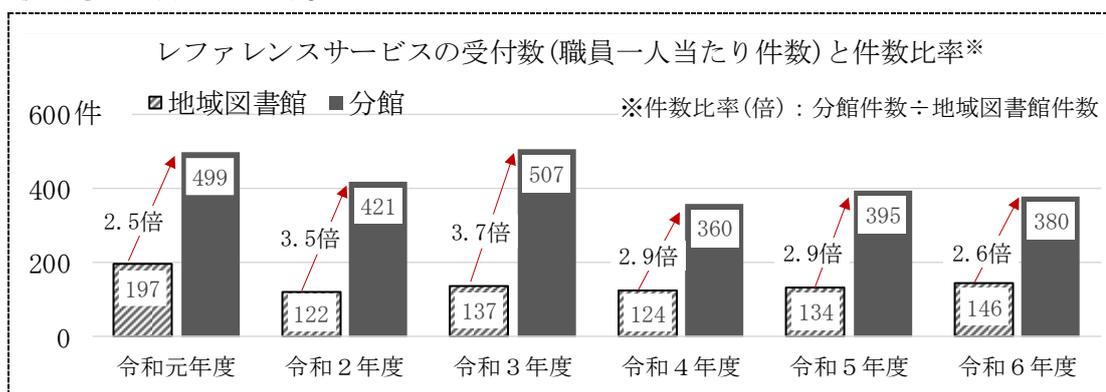
また、高齢化が進む相武台地区における外出の困難な高齢者を想定し、図書の宅配サービス導入についての検討を望む、という意見があった。

## (C) 情報

分館の年度におけるレファレンスサービスの受付件数は、令和2年度から令和6年度にかけて、毎年度3千件前後の水準で推移している(右グラフ)。



さらに、分館の職員一人当たりの受付件数は、地域図書館に比べ、3倍前後と多い(下グラフ)。



この背景には、相武台地区の特徴である少子高齢化が関係していると考えられる。具体的には、パソコン等の電子機器利用に不慣れな高齢者の利用ニーズ、子どもの学習(調べもの等)についての身近な相談場所としての親子での利用ニーズ、があることである。

以上から、レファレンスを主軸とする情報サービス機能は、相武台地区で少子高齢化が進む中であっても、現行と同程度を維持すべきと考える。

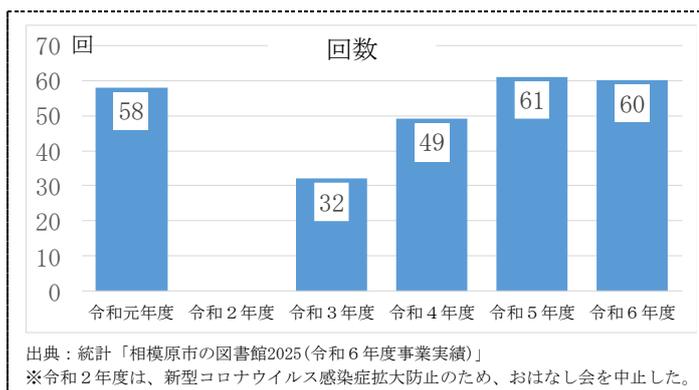
## (D) 施設

分館における多目的スペースとしては集会所があり、「おはなし会」、通常の来館者の閲覧室等として利用されている。

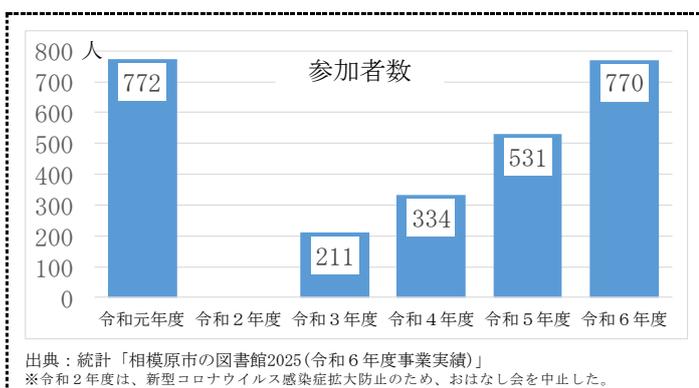
多目的スペースの利用目的は、学習、自習、おはなし会、閲覧、読書、キッズスペース等と多様であるが、現状は集会所を共用しているため、利用する際の日程等の自由度が低い。

移設後は、多様な利用者ニーズを満たせるようなスペースを設けることが望ましいと考える。

なお、分館における「おはなし会」について、開催回数は、令和元年度の年間58回の後、令和2年度のコロナ禍による開催中止があったものの、令和3年度以降増加に転じ、直近の令和5、6年度は、令和元年を超える年間60回以上となっている(右グラフ)。



参加者数は、令和元年度の年間772人の後、令和2年度のコロナ禍による開催中止があったものの、令和3年度以降増加に転じ、令和6年度は令和元年の規模に迫る年間770人となっている(右グラフ)。



開催回数、参加者数、いずれも令和元年度の規模に戻っていることから、「おはなし会」には根強いニーズがあると考えられる。

また、高齢者、車での来館ニーズを考慮し、移設後の交通手段、ならびに駐車場、駐輪場を充実させ、利用者がアクセスしやすい環境を整えることも重要であると考えられる。

## 5. 要望

前述の検討結果に基づき、以下を教育長に要望します。

### (ア) 図書機能の維持方法について

- ✓ 短期的には現施設を可能な限り活用して教育的機能を安定的に継続しつつ、中長期的(将来的)には機会をとらえ、図書室機能として整理される場合であっても、その中で継続される図書機能を、もえぎ台小学校跡地において確保すること。
- ✓ 当該図書機能は、地域活動の場という性格にとどまらず、児童・生徒の学習支援や読書活動の推進、調べもの相談等のレファレンスサービスを含む、学校教育を補完する社会教育機能を有する公共サービスであり、市の教育施策と一体的に位置づけられるべき機能であることから、市が示す跡地ゾーニングにおいては、行政活用エリアとして検討することが適切であると考えます。

### (イ) 移設後の図書機能のあり方について

#### ✓ 閲覧・貸出・情報

現分館が有する図書機能を基本とし、将来ニーズ\*の取込みを図ること。

※例：高齢化の進む相武台地区における外出の困難な高齢者を想定し、  
図書の宅配サービスを導入する、など。

#### ✓ 施設

現分館が有する図書機能に対して、さらなる充実\*を図ること。

※例：多様な利用者ニーズを満たせるようなスペースを設ける、  
施設へアクセスしやすい環境を整える、など。

### (ウ) 留意事項

今から早くても10年後に利用が開始され、さらにその先数十年の利用期間を見込むであることを鑑み、以下の点を留意願いたい。

#### ✓ 行政と地域との対話の継続

本要望の実現に向けては、相武台地区まちづくり会議における、もえぎ台小学校跡地利用検討との協働が必須であると考えます。

来年度以降も引き続き、行政と地域との連携を密にすること。

#### ✓ 全体最適

図書機能の移設先として、もえぎ台小学校跡地の利用を想定することから、もえぎ台小学校跡地利用全体構想の中で最適化を図ること。

#### ✓ 地域のニーズや時代の変化への追随

技術の進歩や利用者行動の変化等を取り込みながら図書機能の実装を検討すること。

相武台地域にとって魅力ある図書機能が今後も維持されるよう、十分にご検討いただけますよう、よろしくお願いいたします。

## 6. 添付資料

添付1：「図書館相武台分館のあり方検討会」の検討経過

添付2：相武台地区に必要な図書機能・サービス・施設(現行と今後の方向性)

添付3：相武台地区に必要な図書機能・サービス・施設についての検討委員の意見

添付4：視察研修会を踏まえた検討委員の意見・感想

添付5：分館利用者の意見(令和6、7年度のアンケート結果(自由記述を集約))

以上

添付1：「図書館相武台分館のあり方検討会」の検討経過

開催回	年月日	検討内容
第1回	R5. 6. 27	○検討の背景・経緯について ○検討会の進め方について ○今後のスケジュールについて ※相武台分館の利用傾向等に関する情報提供
第2回	R5. 8. 22	○検討会の進め方について ○図書館の機能・サービスについて ・基礎的情報の共有（図書館の概要、施策の方向性等） ※相武台地区にふさわしい図書機能・サービスに関する意見・提案シート」の提出依頼
相武台分館 施設見学会	R5. 10. 18	○相武台分館施設見学 ・現地説明
第3回	R5. 10. 25	○相武台地区にふさわしい図書機能・サービスに関する意見・提案について ・各委員からの提案説明（意見・提案シートの提出） ○意見等の整理方法について ※相武台地区にふさわしい図書機能・サービスに関する追加意見等の提出依頼
第4回	R6. 1. 24	○相武台地区にふさわしい図書機能・サービスに関する意見・提案について ・各委員からの追加意見等の提案説明 ○各委員の意見・提案内容の分類・集約 ・今後の検討事項や論点の整理
第5回	R6. 6. 13	○昨年度の検討経過について ○検討に必要な情報の収集・整理について ・市内図書館及び図書室視察行程（案） ※相武台分館の利用傾向等に関する情報提供
市内図書館等 視察研修会	R6. 6. 25	○市内図書館及び図書室視察 ・全7施設の施設見学・現地ヒアリング
第6回	R6. 12. 4	○視察研修会等を踏まえた意見交換について ・委員意見の分類・集約
第7回	R7. 2. 26	○委員意見のまとめについて ○図書機能の確保策の検討について ・基礎的情報の共有（図書館の設置及び運営上の望ましい基準、本市図書館・図書室の利用状況等） ※今後の進め方やスケジュール等の確認
第8回	R7. 6. 13	○昨年度の検討経過について ・開催経過 ・これまでの委員意見（概要） ○図書機能の確保策の検討について ※まちづくり会議からの情報提供（もえぎ台小学校跡施設の活用に向けた今後のスケジュールについて） ○今後のスケジュールについて
第9回	R7. 8. 25	○本検討会における議論のまとめ方について ○今後のスケジュールについて

開催回	年月日	検討内容
第10回	R7. 9. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区に必要な図書機能・サービスと付帯設備等の検討について</li> <li>○今後のスケジュールについて</li> </ul>
第11回	R7. 10. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体スケジュールの確認について</li> <li>○地区に必要な図書機能・サービスと付帯設備等について (継続検討) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを用いた各項目の重要度の把握</li> </ul> </li> <li>○今後のスケジュールについて</li> </ul>
第12回	R7. 11. 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区に必要な図書機能・サービスと付帯設備等の検討結果について <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要項目の抽出と委員意見の集約</li> </ul> </li> <li>○今後のスケジュールについて</li> </ul>
第13回	R7. 12. 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体スケジュールの確認について</li> <li>○地区に必要な図書機能・サービスと付帯設備等の検討結果について <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長への要望案(まちづくり会議への報告書案)のレビュー</li> </ul> </li> <li>○今後のスケジュールについて</li> </ul>

添付2：相武台地区に必要な図書機能・サービス・施設(現行と今後の方向性)

凡例 ◎：実施 △：一部実施 -：未実施

項目	機能・サービス	現行	今後の方向性	
閲覧	一般書	◎	現行と同程度	
	児童書	◎		
	刊行物(新聞など)	◎		
	視聴覚資料(録音図書・CD・DVD等)	-		
	障がい者資料	朗読CDほか 大活字本		◎
貸出	貸出・返却	◎	現行と同程度	
	予約・リクエスト(受付・提供)	◎		
	相互貸借(県内・国立国会・他県図書館)	◎		
	電子書籍サービス	◎		
	子ども読書資料循環制度「くるくる としょかん」	-		
	読み聞かせ専用資料の貸出(大型絵本・紙芝居・布絵本)	-		
	宅配サービス	-		
	団体貸出	子ども資料団体 一般団体		◎ -
情報	レファレンスサービス(調べもの相談)	◎	現行と同程度	
	情報検索サービス	利用者用検索機(OPAC)		◎
		利用者用インターネットPC		◎
		オンラインデータベース等		-
	複写サービス(公共図書館における複写)	◎		
	レフェラルサービス	市外図書館や専門機関等の案内		◎
		大学図書館との相互協力		-
	資料展示	新刊本・テーマ展示・子育てコーナー等		◎
行政・地域情報等のポスター掲示、チラシ配布		◎		
SNSによる情報発信	-			
施設	閲覧スペース	△	更なる充実	
	集会室(読書団体等への提供(無料)、図書館業務、イベント等)	◎		
	おはなし会等の開催(各種イベント、読み聞かせボランティアとの連携等)	◎		
	キッズスペース(子ども向けエリアや部屋など)	△		
	駐輪場(二輪)	自転車・バイク		◎
		一般用		-
	駐車場(四輪)	障がい者用		◎

添付3：相武台地区に必要な図書機能・サービス・施設についての検討委員の意見

大項目	小項目	主要な意見
閲覧・貸出	蔵書規模・内容の充実	現行と同程度の蔵書規模が必要。
		子育て・交流促進・高齢者向けなど、多様なニーズに応じた資料を提供すべき。
		郷土資料（地域の歴史・成り立ち・隣接地域との関係）のさらなる拡充を希望。
	児童書・子育て関連	児童書は現行以上に充実させたい。
		おはなし会は図書館との共催の上、より内容拡大を希望。
		英語本を含む「グローバル対応」資料を強化すべき。
	高齢者向け資料	絵本・紙芝居の充実。特に紙芝居は人が集まりやすい観点から必要。
		高齢者が情報を得るための新聞・雑誌の充実が望ましい。
	貸出・返却・電子サービス	視聴覚資料（CD・DVD）を借りられるようにしてほしい。
		貸出・返却・予約の「現代的システム導入」を希望。
		現在の貸出サービスで十分との意見あり。
	特定資料の扱い	電子書籍は現行程度で良い、来館利用を重視すべきとの意見が多い。
		読み聞かせボランティアが大型絵本・紙芝居を借りられると良い。
	多様な利用者への対応・その他	「くるくるとしょかん」や大型絵本等の読み聞かせ専用資料貸出は必須ではない。
		在宅高齢者・育児中の方向けに宅配サービスの充実を希望（声かけ等も含む）。
		郷土資料と参考図書については、相武台地域の歴史、成り立ち、隣接地域との関係性など、もう少し踏み込んだ資料の充実が望まれる。
		様々な利用者のニーズ(子育ての充実、人の集いの強化、高齢者向けの知識等)に応じた資料の提供が望まれる。
		外国人利用者が増えているが、現状の蔵書規模で不便はない。
寄付金や寄贈の受け入れをより充実させたい。		
情報	レファレンス・検索	閉架書庫の充実・保管スペース拡大が必要。
		人が対応するレファレンスサービスを重視すべき。
		学生や高齢者のために情報検索サービスを強化すべき。
	情報発信・展示	利用者用インターネットPCが1台のみで少ない。増設を希望。
		資料展示は現状も良いが、さらに充実すれば特色が出る。
	学校連携	SNS発信は「現行程度で良い」という意見と「もっと発信すべき」という意見に分かれる。
学校連携事業は人の交流につながるため充実を希望。		
学校図書室とは異なる本があることを子どもたちに知ってもらいたい。		
施設	読書・学習スペース	職員負担を考慮し、3館で補充し合う形でもよい。
		読書スペースは現状不足しており、跡地活用で拡充すべき。
	イベント・交流スペース	読書・調べもの・勉強スペースの増加で来館者が増えると期待。
		静かな空間と交流できる空間の両立が望ましい。
	子ども向けスペース	集会室・おはなし会などイベントスペースの充実を希望。
		もえぎ台小学校跡地を活用してマルチスペース化も検討可能。
	カフェ・飲食・利便施設	リースペースや用途に応じた使いやすい機能を持つ空間が必要。
		読書室、おはなし会室、キッズスペースは専用室で整備すべき。
	駐車場・駐輪場	子どもが手に触れ、持ち帰れる本のコーナーが必要。
		カフェコーナー・自販機は館外でもよく、地域のマルチスペースでも可。
アクセス改善のため駐車場・駐輪場の充実が必要。		
図書機能全般の考え方	現分館より遠くなる利用者対応のためにも整備が必須。	
	跡地全体での共用で問題なし。	
	図書サービスは最低限現状維持が必要。	
	学習室・読み聞かせスペースなど、図書機能と分離して設備を充実させるべき。	
	地域活性化・課題解消につながる方向で機能面を充実させたい。	
	高齢者サービス・子どもの居場所づくりなど、地域の特徴を尊重して整備すべき。	

添付4：視察研修会を踏まえた検討委員の意見・感想

視察施設区分	分類	主張ポイント	元の意見文	
施設全般	分館の将来への言及	読書・学習スペースの不足改善	分館は狭小で、ゆっくりくつろげるスペースが不足しているが、視察先の多くは読書・学習スペースが十分に確保されており、全般的に明るい印象を受けた。	
		専用室の必要性	分館は、学習室など専用の部屋はなく、館内の閲覧席と集会室を開放することで、かろうじて読書スペースを確保している状況である。	
		閲覧環境の改善	分館の雑誌・新聞コーナー付近に、閲覧用の長いソファが置かれているが、来館者はいつも窮屈そうに座っている印象がある。	
		レファレンス機能と職員体制強化	公民館等図書室で働いている職員の人数が少ない印象。 レファレンス機能充実と職員確保が必要。	
		司書配置の重要性	分館は司書の資格を有する職員を配置しているが、公民館等図書室は司書を置いていない。	
		おはなし会専用スペース	分館で実施している「おはなし会」の地域的ニーズを考えると、専用スペースが必要。	
		大人向け・世代間交流スペース	大人のためのおはなし会や世代間交流の需要拡大。	
		閉館時間延長の必要	働く親や中高生のため、分館も遅い時間まで開館すべき。	
		地域拠点としての機能維持	機能・サービス面で分館は一定のレベルを有し、維持強化が必要。	
		高利用地区としての継続性の必要	利用需要が高い地区にもかかわらず廃止方針にショック。	
	感想	施設の快適さ	視察先の各施設は読書・学習スペースが確立され快適だった。	
		書架スペースの余裕	視察先は書架スペースに余裕があった。	
		新聞配置の違い	公民館等図書室には新聞がほとんど置かれていない。	
		職員数の少なさ	公民館等図書室は職員が少ない印象。	
		利用差の存在	設備が良くても利用が少ない施設もあった。	
	地域図書館	分館の将来への言及	分館との比較限界	橋本図書館は充実しているが分館との単純比較はできない。
			蔵書量・読書環境の参考	豊富な蔵書・学習スペースは参考になる。
		感想	貴重資料の認識	閉架書庫の資料を見て活用意欲が高まった。
	公民館等図書室	分館の将来への言及	読書環境改善の参考	串川ひがし地域センターは分館比較として良好な読書環境。
学習スペース整備の必要性			相武台地区にも同様の読書・学習スペースが必要と感じた。	
子ども交流スペースの有効性			各図書室の子どもスペースは分館にも応用可能。	
地域ニーズ対応整備の参考			青野原図書室のレイアウト・地域協力が参考になる。	
感想		多様な子ども対応	青野原図書室は多様な子ども向け取り組みを実施。	
		キッズコーナーの存在	藤野中央図書室にはキッズコーナーがある。	
		陳列工夫による利用増 創意工夫による活性化	小山公民館図書室は陳列工夫で利用率が高い。 小山図書室は規模以上の利用がある。	

出典：令和7年度 図書館相武台分館のあり方検討会(第9回) 参考1資料 第2項

※視察研修会は、令和6年6月25日に実施。視察先は以下。

図書室等：串川ひがし地域センター、青野原図書室(青和学園内)、森ラボ(参考視察)、  
藤野中央公民館図書室、相模湖公民館図書室、小山公民館図書室

図書館：橋本図書館

添付5：分館利用者の意見(令和6、7年度のアンケート結果(自由記述を集約))

大項目	小項目	主要な意見	
地域の活性化	地域住民の生活の支え	分館があることは相武台に住んでよかったと思える理由。 生活に彩りを与えてくれています。	
		子育て支援として重要	
	子育て支援として重要	子どもがたくさん利用している。	
		絵本が充実していて助かる。子どもにとって大切。	
		子どもが本好きになった経験がある。	
		子どもに読書が身近な生活を送ってほしい。	
		読み聞かせ会がありがたい。	
		子どものための読み聞かせ・代替サービスの維持を希望。	
	子どもの憩いの場。		
	高齢者の生活の支え	お年寄りがたくさん利用している。	
高齢者の交流の場になっている。			
分館の評価・分館への期待	蔵書・機能面	絵本が充実している点を評価。	
		ネットワークの取り寄せが便利。	
		取り寄せサービスが便利。	
		公民館移行後の在庫減を懸念。	
		公民館図書室に移ると蔵書減が心配。	
	職員評価	職員の対応がとても良い。	
		カウンター職員対応に満足。	
	現在地・立地評価	地域の中心地として便利。	
		徒歩圏内の維持を希望。	
		高齢者が利用しやすい立地で助かる。	
		70代でも徒歩で行ける点ありがたい。	
	駐車場など環境改善	新磯野公園隣接・交番が近く安全。	
		駐車場の整備希望。	
		駐車場があると助かる。 近くに駐車場があれば利用が増える。	
	分館存続希望意見	存続希望・廃止反対	この地区から図書館をなくさないでください。
			相武台分館を今後も維持していただけたらうれしい。
			相武台図書館の存続の検討をぜひお願いしたい。
			現在地での存続を強く希望する。
相武台分館の存続をお願いしたい。			
相武台分館をよく利用しており、閉館しないでほしい。			
相武台の図書館はなくては困る。なくならないでほしい。			
相武台図書館を無くさないでください(高齢者)。			
無くならないでほしい。いつまでも相武台分館があり続けますように。			
相武台分館を無くさないでください！			
分館廃止に反対する。			
移転・建替・代替案		“そあら”への移転案。	
		こどもセンター等への移設案。	
		公民館等での代替案希望。	
		建物修理・建替の提案。	

出典：分館作成の「相武台分館の利用傾向等からみた分析結果(R5)参考資料」

分館作成の「相武台分館の利用傾向等からみた分析結果(R6)参考資料」

令和6年度：

令和6年3月8日から4月29日まで、各図書館及び対象となった公民館図書室、図書館ホームページで実施したアンケート。回答総数は1,100件で、うち相武台分館での回答数は100件。

令和7年度：

令和7年4月22日から5月18日まで、各図書館及び対象となった公民館図書室、図書館ホームページで実施したアンケート。回答総数は1,231件で、うち相武台分館での回答数は95件。